

# 株主通信

## 第35期 事業報告書

平成12年3月1日～平成13年2月28日

(PDF版)



この株主通信(PDF版)は、ホームページ用にデザイン等一部変更しております。

**エスフーズ株式会社**



### こてっちゃんアラカルト 「春キャベツ・アスパラ・にんにく炒め」

【材料 3人分】

「こてっちゃん」野菜炒め用:300g、  
キャベツ:1/4玉(200g)、アスパラ:5本、にんにく:2片、  
サラダ油:大さじ1/2、塩:適量

【つくり方】

1. キャベツはザク切りに、アスパラはサッとゆでて斜め切りにし、にんにくはスライスしておきます。
2. フライパンでサラダ油を熱し、弱火でにんにくを炒め、香りが出てきたら強火にし、キャベツとアスパラを炒め塩を少々加えます。
3. 強火のまま、こてっちゃんを加え、軽くこげ目がつくまで炒めてできあがりです。

## INDEX

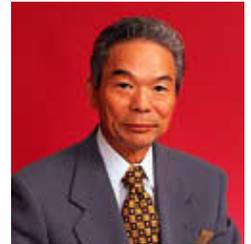
1. カバーストーリー / INDEX
2. 当期の概況ご報告
3. 営業成績と資産状況
4. 連結での営業成績と資産状況
5. 財務状況(貸借対照表・損益計算書)
6. 連結での財務状況
- 7~8. 今後の経営戦略について
- 9~10. 元気NEWS「こてっちゃん」
- 11~12. 元気NEWS「ネゴピー塩」
13. 当社およびグループ企業の概要
14. 株式の状況

## 株主のみなさまへ

新しい世紀を迎え、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また平素は当社に格別のご支援・ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、第35期の当社営業および事業概況をご報告いたしますので、  
さらなるご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年5月

取締役社長 森島 征夫



当期の営業の概況についてご報告いたします。

先行きの不透明感からくる消費低迷が長引くなか、量販店・小売店においては、消費者ニーズの多様化、競合の激化による生活関連商品の低価格化が進み、売場面積が拡大しているにもかかわらず、売上金額が低下するという厳しい経営環境が続いています。このような市場混迷を乗り越えるべく、当社は積極的に新製品とオリジナル商品の開発を行い、継続して収益増を目指す強い企業体質づくりに励んでまいりました。平成12年6月には西宮第2工場において国際品質規格「ISO9002」の認証を取得。同8月には当社株式の東証・大証一部への指定と同時に、社名を「スタミナ食品株式会社」から「エスフーズ株式会社」へと改め、信頼され支持されるブランドの体系化、事業領域の拡充、販売チャネルの多様化に向かって大きな一歩を踏み出しました。営業面においては、成長を続ける焼肉レストランなど外食市場への対応を強化する一方、女性の社会進出や高齢化社会の到来にともない需要の高まっている持ち帰り弁当・惣菜など中食市場に焦点をあてた売場開拓などに注力いたしました。また、財務面においては会計ビッグバンにそなえた強靱な財務体質の構築を行っています。

当期販売数量は68,205トンで前期比3.5%増、売上高は504億2千7百万円と前期比2.1%増となりましたが、利益面では、経常利益21億1百万円と前期比18.7%減、当期利益も10億5千2百万円と前期比10.8%減となりました。

次期には、経営方針「強い会社の実現」に向け諸施策を推し進め、食肉業界において揺るぎない地位を築いてまいります。

## 安全・品質管理についてのご報告。

### 口蹄疫について

口蹄疫は、人間に感染するおそれはなく、感染した肉を食しても人体に影響はおりません。しかし偶蹄類の動物への感染力が強いため、各国では厳しい防疫対策をとっています。

### 狂牛病について

動物性たんぱくを牛の飼料としたことが原因と考えられており、北米、オーストラリア、ニュージーランドおよび日本では、飼料に使用されておらず心配はおりません。

「仕入れない」「作らない」「売らない」  
当社独自の生食禁止3原則の遵守を貫きます。

当社では食中毒の未然防止対策として生食用には肉を「仕入れない」「作らない」「売らない」の3原則を企業倫理に定め、取引先に対しても加熱食用の徹底を行っています。また、加熱製品と非加熱製品の生産工場を分離することにより、製造過程での交差汚染が起きない対策をとるなどO-157等の細菌汚染事故の発生を未然に防ぐシステムを遵守しています。

生産・加工ラインの安全性と  
品質管理体制を徹底します。

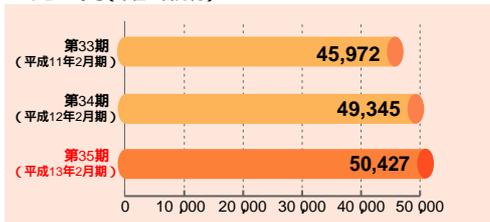
当社はHACCPに続き、100%の安全性をめざし独自の品質管理を推進してきました。その結果、昨年度の西宮工場ISO9002取得に続き、本年6月中には全4工場でのISO9001取得を予定。さらなる安全・品質管理体制の確立を目指し邁進いたします。

## 当期の概況

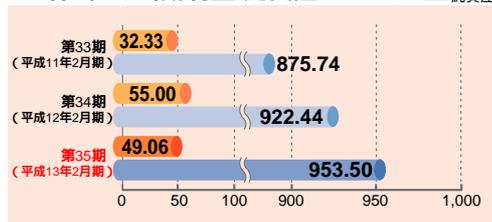
消費の低迷するなか「エスフーズ」の売上高は500億円を突破しました。

## 当社の営業成績および資産状況の推移

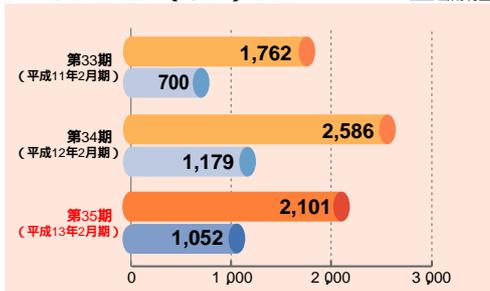
売上高(単位:百万円)



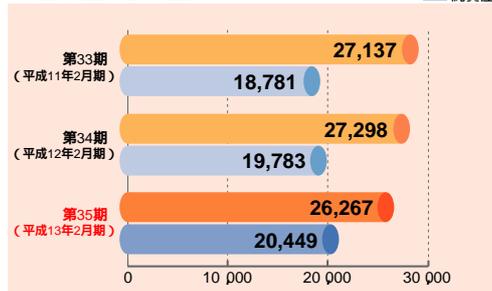
株当たり当期利益 純資産(単位:円)



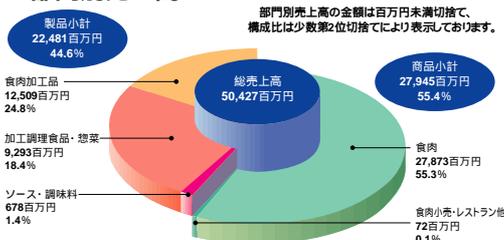
経常利益 当期(中間)利益(単位:百万円)



総資産 純資産(単位:百万円)



部門別売上高



利益処分(単位:千円)

当期末処分利益	1,956,719
特別償却準備金取崩額(注)	726
合計	1,957,446

これを次のとおり処分いたします。

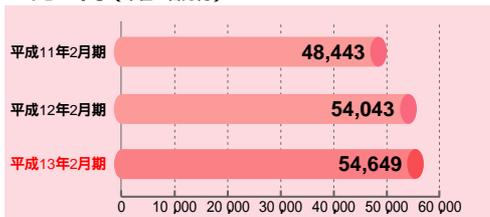
利益準備金	50,000
利益配当金(1株につき19円)	407,474
役員賞与金(監査役賞与金)	30,926(3,100)
特別償却準備金	8,645
別途積立金	500,000
次期繰越利益	960,399

(注) 租税特別措置法に基づく取崩額

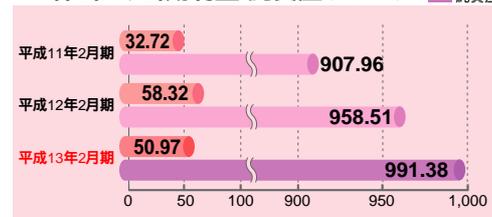
## 連結での営業成績および資産状況の推移

連結対象子会社:ミスタースタミナ(株)、(株)ケンシヨク、FREMONT BEEF COMPANY

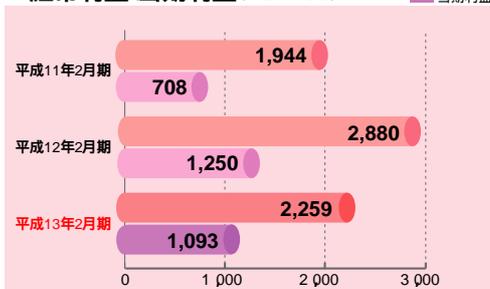
売上高(単位:百万円)



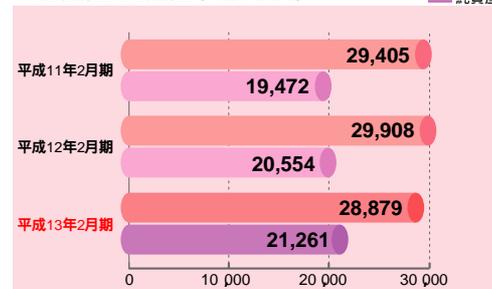
株当たり当期利益 純資産(単位:円)



経常利益 当期利益(単位:百万円)



総資産 純資産(単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの状況(単位:百万円)

科目	当期末	前期末
	平成13年2月期	平成12年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,362	2,168
投資活動によるキャッシュ・フロー	95	760
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,805	1,218
現金および現金同等物の期末残高	1,406	1,920

## 当期の財務状況

平成13年2月28日現在

# 新製品や加工食品の健闘により当期利益は 10億5000万円でした。

### 当社の貸借対照表および損益計算書

#### 貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	当期 平成13年2月28日現在	前期 平成12年2月29日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	11,563	12,397
固定資産	14,704	14,900
資産合計	26,267	27,298
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,337	7,288
固定負債	479	226
負債合計	5,817	7,515
<b>資本の部</b>		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
利益準備金	540	500
剰余金	11,511	10,884
資本合計	20,449	19,783
負債・資本合計	26,267	27,298

#### 損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当期 自平成12年3月1日 至平成13年2月28日	前期 自平成11年3月1日 至平成12年2月29日
<b>経常損益の部</b>		
営業収益	50,427	49,345
営業費用	48,314	46,969
営業利益	2,112	2,376
営業外収益	295	379
営業外費用	306	169
経常利益	2,101	2,586
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	—	9
特別損失	241	248
税引前利益	1,860	2,347
法人税、住民税及び事業税	909	1,206
当期利益	1,052	1,179
前期繰越利益	904	831
当期末処分利益	1,956	2,135

#### 流動資産

主な減少は、借入金返済による現金及び預金の減少です。

#### 流動負債

返済により短期借入金が100百万円、一年以内返済長期借入金が1,243百万円それぞれ減少しました。

#### 営業利益

低価格志向と競争の激化により利益率が0.6%低下しました。

#### 営業外費用

社名変更費用として129百万円を計上しました。

要旨による表示の都合上、当社及び連結での損益計算書の「法人税、住民税及び事業税」以降に一部科目の省略があります。

### 連結での貸借対照表および損益計算書

連結対象子会社：ミスタースタミナ(株)、(株)ケンショク、FREMONT BEEF COMPANY

#### 貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	13年2月期 平成13年2月28日現在	12年2月期 平成12年2月29日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	13,268	13,940
固定資産	15,591	15,799
為替換算調整勘定	19	168
資産合計	28,879	29,908
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,949	8,013
固定負債	1,032	719
負債合計	6,981	8,732
少数株主持分	637	621
<b>資本の部</b>		
資本金	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171
連結剰余金	12,863	12,157
自己株式	—	1
資本合計	21,261	20,554
負債、少数株主持分及び資本合計	28,879	29,908

#### 損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	13年2月期 自平成12年3月1日 至平成13年2月28日	12年2月期 自平成11年3月1日 至平成12年2月29日
<b>経常損益の部</b>		
営業収益	54,649	54,043
営業費用	52,378	51,382
営業利益	2,270	2,661
営業外収益	322	424
営業外費用	333	204
経常利益	2,259	2,880
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	25	12
特別損失	252	274
税引前当期利益	2,032	2,618
法人税、住民税及び事業税	976	1,337
当期利益	1,093	1,250

#### 資産合計

主な減少は、当社における現金及び預金の減少、また、減価償却による固定資産の減少などです。

#### 負債合計

流動負債において当社の借入金返済による大幅な減少がある一方、固定負債においては当社役員退職慰労引当金を新たに計上し増加しました。

#### 経常利益

営業利益率の低下及び、当社の円安による為替差損95百万円ならびに社名変更費用の発生などで減少いたしました。

# 焼肉日本一、バラエティーミート世界一を目指して、強い会社を実現する革新と創造。

**中期経営計画 市場環境**

**業界全体**  
株式公開14社の売上は2兆5千億円前後で横ばいだが、体力に差がつく。マーケットシェア奪取のチャンス。

**牛肉・バラエティーミート輸入量**  
低価格の焼肉レストラン市場の成長に応じて需要が増す傾向にある。  
(第3次もつブームが始まっている)

**マーケット**  
低価格商品と高品質・高価格の2極化、個食化がすすむ。

**当社の事業チャンス**

**食の多様化**  
焼肉レストランの成長により、バラエティーミート等が居酒屋・中華・洋食レストランなどにも浸透し、ノウハウの蓄積された当社の強みが発揮できる。

**技術力**  
高齢化社会に適した動物性蛋白質の開発力が発揮できる。  
(柔らかく、高蛋白、低カロリー)

**社会的ニーズ**  
手軽で簡単かつ栄養価の高い食品は依然根強い。(こてつちゃん、ネコビー、牛もつ鍋など)

**チャレンジ21**  
実りある成果へ向け、挑戦する!

**経営理念**

「おいさと健康を愛する魅力ある  
スタミナ食品をもって世界に貢献する」  
「我々は、真のやりがいを感じ、企業の成長・発展とともに生活・文化の向上を図る」

**経営ビジョン**

**強い会社を実現する**

強い会社とは……  
強い会社の目的は、経営革新で環境変化への対応力を強化するとともに、経営基盤を盤石にして、エスフーズグループ全体の幸福を図ることです。

**スピーディー&グローバル**  
国際的な視点でスピード経営を実現します。  
人々の価値観はドラスティックに変化しています。今あるアイデアを今すぐ実行し、これからのことを、今すぐ先取りしていきます。単にスピーディーな意思決定だけでなく、スピーディーな業務執行も実行します。また、グローバルな環境変化にも的確かつスピーディーに対応し、ビジネスチャンスに対し積極果敢に挑戦していきます。

**インセンティブ・システム**  
企業家精神の確立と、その実現化を図ります。  
エスフーズの社員一人ひとりが、創造力と情熱を持って、未知の世界を切り開き、引き受けた仕事を達成する強い精神力と勇気を持ち、成功に導く行動力のある社内企業家であることを目指します。

**コアコンピタンスの拡大**

**食肉業界のニッチパイオニアを目指します。**

当社は、創業以来、焼肉商材・バラエティーミート市場において数多くの革新と創造性あふれるアイテムを提供してきました。それらは、一般には市場と認知されていなかった、すき間市場(ニッチ)に狙いを定め、他社が気がつかないニーズをとらえたものです。今後は、これまで築いた技術力・開発力・マーケティング力等をさらに強化し、独自の製品や商品を開発。食肉業界のニッチパイオニアとして市場をリードし、焼肉日本一、バラエティーミート世界一を目指します。

**開発コンセプト**

**”おいしくてあんしん”な食卓を提案します。**

エスフーズは、まだ誰も知らない食肉の”おいしさ”を追求し、魅力あるスタミナ食品として提案していきます。また、ISO9001を取得するなど、製品品質における”あんしん”にも細心の注意を払っていきます。  
(ISO9001は01年6月迄に全4工場で取得見込み)

**38期には売上高590億円、当期利益17億円を目指します。**

定量目標 (単位: 百万円)

	35期実績	38期	35期比増加率(%)
売上高	50,427	59,000	117.00
営業利益	2,112	2,850	134.94
経常利益	2,101	2,945	140.17
当期利益	1,052	1,710	162.55
株主資本	20,449	23,696	115.87
ROE(%)	5.14%	7.22%	140.47

# 元・気・N・E・W・S

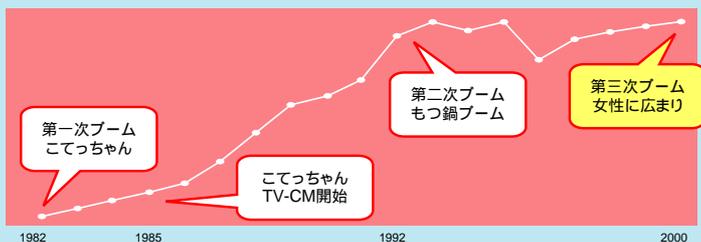
## 第3次もつ(ホルモン)ブームを背景に ニッチパイオニア強化を目指す 「こてっちゃん」春のキャンペーン。

おいしくて、栄養満点、しかもバラエティゆたか。そんな魅力が受けて、もつ(ホルモン)の需要が上昇中。一般家庭をはじめ、若い女性のあいだでも「こてっちゃん」ファンがどんどん増えています。

エスフーズは、この動向を着実にとらえた春の大型キャンペーン実施により、もつ(ホルモン)市場の拡大を強力にすすめています。

### もつ(ホルモン) 第三次ブームがやってきた!

#### エスフーズもつ加工品販売実績

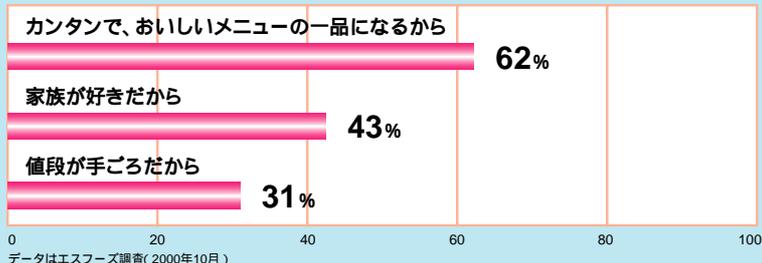


## 旬のおいしい情報で「こてっちゃん」 春の拡売プロモーション。

いまや、ご家庭のメニューとして、すっかり定着した「こてっちゃん」。今期は、四季の旬野菜とあわせてつくる「カンタンおいしいメニュー」の提案で、さらにファン層拡大をはかっていきます。春のテレビCFは、人気者の山田まりやさんと久野くんが、平日は「野菜炒め」、土日は「焼肉」をパクパク食べて食欲を刺激。店頭では5種類のレシピカードを中心にした拡売キャンペーンを展開。

“カンタンで、おいしい”という点が、「こてっちゃん」の売れるポイントです。

#### 「こてっちゃん」を買う理由はなんですか?



旬のお野菜と炒めておいしいメニューを  
アピールする5種類の「こてっちゃん」レシピカード。



# ニッチパイオニアを目指す エスフーズ強力製品第2弾 こだわりの新塩味「ネゴピー塩」。



ご家族や、パーティーの食卓に、まったく新しい  
美味しさを提案する2種類の「ネゴピー塩」シリーズ。  
ネギ・ゴマ・赤ピーマンの風味と、ミネラル分の多い  
赤穂の天塩、一番搾りのゴマ油であっさり仕上げ。  
おいしさたっぷりの新塩味でお届けします。



コラーゲンたっぷり。  
鮮度にこだわった  
肉厚の牛すじを  
あっさり、やわらかく  
仕上げました。

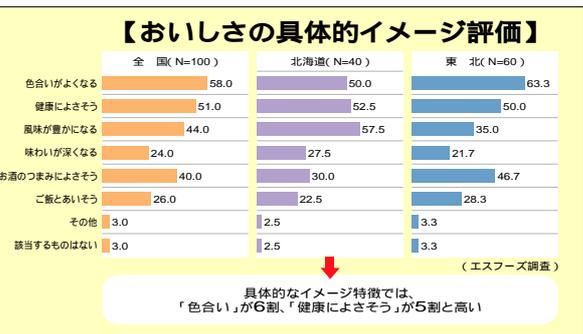
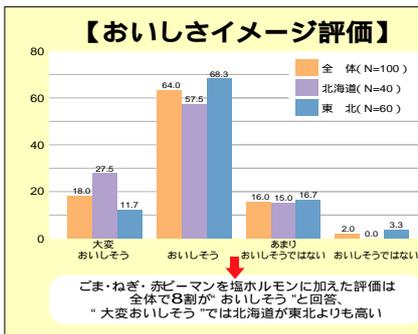
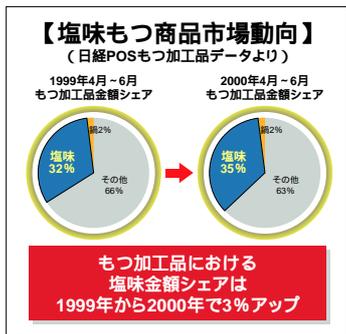


新製品



希少価値のある  
肉厚の牛ホルモンを  
あっさり、やわらかく  
仕上げました。

リニューアル  
新発売



## ネギ・ゴマ・赤ピーマンがおいしさと健康の秘密。

**ネギ**

白ネギは、カロチン、ビタミンC、カルシウム、カリウムが豊富に含まれ、腰痛、肩こり、疲労回復に最適。

**ゴマ**

高ビタミン、高ミネラル、高タンパクで、血中のコレステロールを抑えます。

**赤ピーマン**

ビタミンCやB2、E、カロチンを豊富に含み、がん予防効果があるといわれます。



北海道地区  
TVCM放映中  
期間:5月1日～6月30日

うまいっしょ

## 「ネゴピー塩」シリーズ、 北海道地区で 拡売プロモーション実施。

昨年2月の地域限定発売以来、ぐんぐん人気を高めている「ネゴピー塩」シリーズ。ネギ・ゴマ・赤ピーマンをトッピングした健康イメージが大好評です。今春は、とくに人気の北海道地区を重点拡売エリアとし、5月、6月の2ヶ月間TVCFの集中投下をいたします。「ネゴピー」キャラクターの登場するアニメーション・コマーシャルは、お子さまたちの人気者をねらっています。



ネゴピー塩のおいしさや、健康的なイメージを表現してくれるキャラクター、それが「アंकルネゴビー」です!

## エスフーズ会社概要

<b>役員</b> 取締役社長 森島 征夫 取締役副社長 永坂 峰一 常務取締役 中山 稔 常務取締役 田中 基裕 常務取締役 朝永 直樹 取締役 旦 有孝 取締役 富沢 進 (平成13年5月24日付で常務取締役に就任) 取締役 田中 正紹 常勤監査役 青島 貴世雄 監査役 大広 雄二郎 監査役 小西 英雄 監査役 中野 正信 設立 昭和42年5月22日 資本金 42億2,664万円(平成13年2月末現在)	<b>従業員数</b> 392名 (男性330名・女性62名、平成13年2月末現在) <b>年間売上高</b> 504億円(平成13年2月期実績) <b>事業内容</b> 食肉類の加工販売 食肉加工品の製造及び販売 ソース、調味料の製造及び販売 <b>系列会社</b> ミスタースタミナ株式会社 株式会社味兆 株式会社ケンショク すこやか食品株式会社 FREMONT BEEF COMPANY	<b>事業所</b> 本社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL0798-43-1065(代表) 東京本社 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38 TEL047-435-0811(代表) <b>支店</b> 名古屋、九州 <b>営業所</b> 札幌、仙台、茨城、船橋、北関東、八王子、横浜、 長野、岡崎、東海西、京都、西宮、りんくう、和歌山、 姫路、岡山、広島(北関東は大宮から名称変更) <b>工場</b> 西宮、西宮第二、船橋、船橋第二
---	--	--

## 主なグループ企業

<b>連結子会社</b> ミスタースタミナ株式会社 (主な事業：食肉の小売) 兵庫県尼崎市武庫川町1-4-6 代表者: 社長戸次 充 設立: 1977年3月 資本金: 8,000万円 持株比率: 100% 株主資本: 481,230千円 売上高: 2,785,241千円 当期利益: 8,832千円 (平成13年2月期)	株式会社ケンショク (主な事業：食肉の加工等) 静岡県静岡市中吉田8-23 代表者: 社長岩淵 文雄 設立: 1963年8月 資本金: 6,800万円 持株比率: 100% 株主資本: 321,282千円 売上高: 1,987,726千円 当期利益: 20,766千円 (平成13年2月期) 平成12年8月静岡県食肉卸株式会社から社名変更	FREMONT BEEF COMPANY (主な事業：食肉の加工等) 米国ネブラスカ州 代表者: 社長野村 康平 設立: 1989年4月 資本金: US\$1,000 (この他に払込剰余金US\$5,999,000) 持株比率: 55% 株主資本: 1,428,784千円 売上高: 8,646,897千円 当期利益: 92,270千円 (平成12年12月期)
---	--	---

## 株式の状況 平成13年2月末日現在

発行する株式の総数 76,500,000株	発行済株式の総数 21,446,659株	株主数 2,606名(前期末比 211名減少)
--------------------------	-------------------------	----------------------------

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ファイブエム	4,835,087	22.54	-	-
丸紅株式会社	3,217,550	15.00	445,000	0.0
森島 征夫	1,328,908	6.19	-	-
伊藤ハム株式会社	838,888	3.91	441,525	0.2
三井物産株式会社	705,830	3.29	140,600	0.0
株式会社三和銀行	610,790	2.84	42,934	0.0
株式会社さくら銀行	610,790	2.84	51,334	0.0
株式会社マイカルファイナンス	500,000	2.33	-	-
エスフーズ従業員持株会	359,600	1.67	-	-
株式会社カウボーイ	312,100	1.45	30,000	0.1

(注) 株式会社さくら銀行は、平成13年4月1日をもって、株式会社住友銀行と合併し、株式会社三井住友銀行となりました。

## 株価の推移と株式の売買高

